

双友会だより

発行

名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 生命・物質工学科
生体材料プログラム内 双友会
TEL (052)735-5277
(052)735-5257

ホームページ

<http://soyukai.web.nitech.ac.jp>**編集**

双友会だより編集部

ご挨拶

平成23年9月吉日

双友会会長 市橋 洋志 (W40)

今年は春から東日本大震災、原子力発電所の事故それにとמוなう政界及び産業界のゴタゴタと暗い話が多いですが、それにめげずに会員の皆様には各方面にてご活躍の事と思ひます。

ご存じの様に私ども双友会員は、この半世紀の間に卒業年度により「紡織学科」から現在の「生命・物質工学科生体材料プログラム」に至る間、名称、内容とも大きな変遷を遂げてまいりました。しかし、各卒業年度毎には、各々30~50名の少ない人数でございます。

会員の皆様には 日ごろ会の活性化の為に 多々ご協力を頂いておりますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。その為に、メール等通信手段が発達した時代ではありますが、各行事には極力参加して旧交を温めて下さい。双友会においては本部の他に、東京、東海及び関西各支部において、懇親会、ゴルフ会等を実施しております。又 全学的同窓会組織である「名古屋工業会」においても各地区毎に行事が行われております。これらにも他の単科会の会員に負けないように双友会会員皆様の多数の参加を願っております。

また、在校生の皆様は、卒業後「双友会会員」となられます。たとえば将来 結婚されてえられた配偶者は いやになれば変更できますが、出身校(母校)は永遠に変更できません。よって卒業後は母校及び同窓会組織である当会の発展の為に宜しくご協力をお願いします。



市橋 洋志 (W40)

平成22年度 双友会懇親会、新入会員歓迎会 開催報告

平成22年度双友会総会、懇親会・新入会員歓迎会が平成22年10月22日(金)に名古屋工業大学学生会館において開催されました。

総会において、幹事会より提出された21年度の事業報告・会計報告、22年度の行事予定・会計予算案について審議のうえ、満場一致で承認され、すべての議事を滞りなく終了しました。

本年度は、竹村 皎 様(W29)に在校生に向けた講演をしていただきました。トンカツエレジーなどテニスに燃えていた学生時代から就職を前にした学生時代の葛藤、激動の転職を経験された社会人時代まで様々なエピソードを紹介していただき、時代の流れを読み柔軟な考えを持つことの大切さを在校生に伝えていただきました。夕刻より懇親会・新入会員歓迎会が開催されました。冒頭、市橋 洋志 会長(W37)から、新会員への歓迎の言葉として、名古屋工業大学という「母校」のために末永く協力し同窓生と仲良くしていただきたいと思いますとのメッセージがありました。ついで、名古屋工業会から常務理事 二杵 幸夫 様からご挨拶をいただき、国立大学といえども存続することが安泰ではない昨今、名古屋工業大学という存在を卒業生、在学学生、教職員の全員で支えていかなくてはならないことを教えていただきました。また、猪股 克弘 生体材料プログラム長から、木下 隆利 先生の理事・副学長への就任、立光 斉 教授の退職、永田 謙二 先生の准教授昇任の報告がありました。同日、学生諸氏のために講演をしていただいた竹村 様により「たく



ましく健全な母校愛を持って卒業することを願って」乾杯のご発声をいただき、歓談に入りました。歓談の場では、新入会員の4年生は緊張しながらも諸先輩方との交流を深め、歓談の途中に一言いただいた若手OBの小島プレス工業、石塚硝子企業の先輩方とも親睦を深め、和やかな時間を過ごしました。宴たけなわの中、万歳三唱を行い、会は中締めとなりました。学生にとっても頼りがいのある諸先輩たちとの交流が得られた有意義な懇親会となりました。

竹村様の講演を聴いて

竹村様の講演を拝聴させていただきました。竹村様は、昭和29年に本学をご卒業され、私たちの大先輩にあたります。ご卒業後は、社会人一年目から企業の即戦力としてご活躍なされ、その後、ご実家の黒金化成株式会社 取締役をなさっていらっしゃいます。ご自身の人生の大きな選択の場面でどのような判断をしてきたかということをお話しながら、社会人としての人生の歩みをお話していただき、将来を考える良いきっかけとなりました。なかでも、企業・経営理念、行動規範の一つである”危うきに近寄らざるは之れ君子の道なれども、又虎穴に入りて虎児を得るは勇猛智略の将と知るべし”というお言葉が印象的でした。また、自分の意見をきちんと主張することや、用意周到に準備をすることの大切さを改めて感じました。今後社会人として生きていく上で、ぜひ実践したいと思います。私も将来についてしっかりと悩み、後悔のない選択をして、竹村様のように後輩に誇れる人生を歩んでいきたいと思ひます。



(鈴木研究室 博士前期課程1年 佐藤 圭)

広告

～ 会 員 寄 稿 ～

双友会東海地区総会を開催（2011年4月22日）

双友会は2011年4月22日に名古屋工業大学2号館11階のラウンジにて、東海地区の総会を開催しました。東海地区の総会はこの数年毎年開催をするようになり、参加者も少しずつ増えています。

東海地区代表の泉地氏(44)より「会員相互の親睦を深めたいという趣旨でこの総会を開催しているので、おおいに楽しんでいただきたい。また、もっと大勢の方が参加できるようにご協力をいただきたい」という開会の挨拶に続き、出席者一番の先輩ということで、米沢 敦氏(20)の乾杯で始まりました。米沢氏からは、「卒業前の太平洋戦争で、学校が空襲により破壊され、その時に亡くなった学生のことを忘れないでほしい」という過去の「ごきそ」に寄稿された文が参加者に配布され、その当時のこと、また卒業後の双友会の思い出など、熱く語られました。その後、出席者一人ひとりが、学生時代の思い出や近況を報告し、大変和やかに親睦を深めることができました。学内からは山本先生も参加され、大学の近況も報告され、大学が置かれている状況の理解がより深まりました。また、今回初めて参加する方もあり、大変意義ある懇親会となりました。予定の時間は瞬間に過ぎ、今後の再会と、この会へもっと多くの会員に出席していただくことを約束し、散会しました。 【記:吉木 満(56)】

出席者(19名)

米沢 敦(20)、丸地 孝男(34)、西尾 弘之(37)、西川 尚武(37)、市橋 洋志(40)、伊藤 雅隆(40)、神谷 暢(40)、沼田 長之(40)、森 洋司(40)、泉地 正章(44)、宇田 良美(44)、森川 民雄(45)、小坂 寧(45)、伊藤 哲夫(45)、朝倉 睦美(54)、吉木 満(56)、中村 武司(58)、浜口 尚久(平3)、山本 勝宏(平6)



広告

～ 会 員 寄 稿 ～

双 友 会 東 京 支 部 報 告

3月11日に発生した未曾有の東日本大震災のため、今年の懇親会を催すことに躊躇しましたが、2ヶ月後のことでもあり例年通り開催することとしました。5月17日(火)新緑の皇居東御苑を望むKKRホテル東京の桜の間に首都圏在住の会員が集い、今回は名古屋から双友会会長 市橋洋志氏、また大阪から関西支部長 今井啓祐氏もご出席いただき、総勢15名が顔を揃えました。

定刻、東京支部長 山田實氏の開会ご挨拶と乾杯の発声で開宴となり、何時ものことながら話題は御器所の思い出話から昨今の時局談義に至り、宴は佳境に入りました。市橋氏より東海支部、今井氏より関西支部の活動報告をいただき、次いで長島氏よりバドュー大学特別教授 根岸英一氏が、ノーベル化学賞を受賞されたのを機に帝人グループ名誉フェローに就任また同大学に冠講座を開設される予定など承りました。因みに同教授はかつて米国留学期間を含め約10年、帝人に在籍されていたとのことです。早川氏の閉会ご挨拶でお開きとし、11月10日(木)に開催の名古屋工業会東京支部総会で再会することを約し、散会となりました。

当日の出席者の氏名、卒業年次は下記のとおりです。

山田 實(23)、早川 吉郎(23)、
飯田 秀郎(33)、佐藤 誠(33)、
森川 勲(34)、西口 浩(37)、
倉島 俊二(38)、高瀬 達也(38)、
中村 勤(38)、市橋 洋志(40)、
今井 啓祐(40)、長島 徹(40)、
魚住 峰男(42)、谷口 庄平(42)、
印藤 嶺(43)

記：佐藤



広告

～ 会 員 寄 稿 ～

双 友 会 関 西 支 部 報 告

双友会関西支部総会が、去る4月16日（土）11：30から開催されました。場所はいつもの大阪天満ダイナミックキッチン「燦」。来賓として本部から市橋会長、名古屋工業会大阪支部から木越支部長他1名のご参加を頂き、参加総数は18名でした。今井支部長の開会挨拶、実績報告及び会計報告等の議事進行の後、懇親会に入り楽しい一時を過ごしました。

次回は平成24年4月14日（土）、帝人㈱長島会長（W40）をお迎えして実施します。奮ってご参加くださるようお願いいたします。

尚、親睦ゴルフも年2回実施しております。今年は7月21日と11月に開催します。こちらもご参加お待ちしております。

小山



広告

平成22年度研究助成報告

双友会では、大学院や学部在学中に学会(各種学術団体などが開催する研究成果発表会)にて研究発表を行った者に対し、「研究助成金」(一回一万円で年一回まで。ただし東海三県を除く)を贈呈しています。平成22年度は下記に示した36件の学会発表に対し研究助成金を贈呈しました。会員の皆様に謹んで御礼申し上げます。

平成22年 5月 第59回高分子学会年次大会(横浜) 17名, 平成22年9月 第59回討論会(北海道) 11名

平成22年12月 Pacificchem 2010 (Hawaii) 5名

平成23年 1月 The 6th International Work Shop for East Asian Young Rheologists (山形) 3名

～謝辞～

私は研究を行っていく上で、自分の考えた範囲だけではなく他者の意見や議論を聞くこと、また他者の研究内容を見ることがとても重要なことであると考えています。そこで、それをもっとも効率的に達成することができるのが学会への参加になります。実際私も何度か学会に参加させていただき、多くの著名な先生方の講演を聞くことや先生方から貴重なご意見をいただくことができたのでとても勉強になり、研究の進展が飛躍的に増しました。

また、学会は情報を聞くだけでなく、自分の研究発表を通して、公式な場で発表するという重要な役割も持っています。将来的に重要な能力であり、そこで私もプレゼンテーション能力の飛躍的な上昇を実感しました。しかし、多くの学会は東海地方以外で行われるため学生ということもあり、参加費や主に交通費などの問題から参加が限られてしまうことが多いです。

そのような中、双友会の先輩方からのご支援のおかげで、一つでも多くの学会に参加することができ、研究の可能性や自分の能力が大きく向上しました。これからも先輩方や、周りの方への感謝の気持ちを忘れず、より研究に精を出していきたいと思っております。

物質工学専攻 博士前期課程2年 藤川 雅道 (山本研究室)

平成23年度『双友会総会・懇親会』のご案内

今年度の「双友会総会・懇親会」を下記の要領にて開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。参加希望の方は、枠内必要事項明記の上、FAX：052-735-5277、E-mail：yamamoto.katsuhiko@nitech.ac.jp、または郵送(末頁の事務局)で事務局(山本勝宏)までご連絡願います。 **※ 大学会館改装中のため、例年と会場が異なりますので、ご注意ください。**

会場 総会、懇親会：名古屋工業大学 校友会館 Café sala (正門すぐ右手奥の建物1F)

日時 平成23年11月4日(金)

17:00～17:50 総会

18:00～19:30 懇親会

会費 5,000円(当日徴収)

平成23年度 双友会総会、懇親会 参加申込書

総会 参加 ・ 不参加 / 懇親会 参加 ・ 不参加

ご氏名： _____ ご卒業年度： _____

ご住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

法人でご参加の方は下記にもご記入お願いいたします。

貴社名(部署名)： _____

ご住所：〒 _____

TEL： _____

平成22年度卒業生進路

平成22年度の卒業生の就職先を紹介します。

大学院：イノアック、三洋化成、林テレンプ、小糸製作所、ブリヂストン、日本ベル、東海ゴム、豊田紡織、キョーラク、東洋インキ、大阪ガス化学、住友ベークライト、東洋紡、メニコン、住化カラー、東レ、ファインセンター、トヨタ、東海ゴム、アイカ、ジェイテクト、東芝、テルモ、東カンマテリアル、小島プレス、メナード、花王、イビデン、平井精密、ノリタケ、石塚硝子、東海理化、ブラザー、テイボー、愛知県庁

学部：シマノ、タマポリ、四日市合成、ツカサ工業、富士特殊紙業、ケー・ティ・エム、愛知県庁、東京工業大学大学院、名古屋工業大学大学院

会費納入のお願い

双友会の運営は会員諸兄姉の年会費(2,000円)にかかっています。

昨今は赤字傾向であり、このうちの大半は年会費の減収分です。このままでは数年後には財源が枯渇してしまいかねない深刻な状況です。本双友会の円滑な運営の為にどうか会費を納めてくださるよう、会員諸兄姉のご理解とご協力をお願いします。なお、寄付の申し込みを受け付けています(一口5,000円から)。会誌またはホームページでご芳名を掲載させていただきます。

個人年会費などのご納入は、①銀行振込、または②郵便振込でお願いします。

個人年会費(2,000円)、終身会費(30,000円)を以下の①あるいは②の方法でご送金をお願いします。

① 銀行振込の場合：下の口座(双友会会費用)に振り込んでください。

三井住友銀行・上前津支店・普通口座

(店番号) 482 (口座番号) 6309868 (登録名) 双友会

② 郵便振込の場合：同封の振込用紙をご利用ください。

事務局だより

- 住所等の誤り、変更がございましたら下記双友会本部事務局までご連絡ください。
- 会員のご名誉・各受賞に関し、ご存じでしたら事務局までご一報ください。
- 双友会だよりの寄稿文を募集しておりますので、事務局までご送付ください。
- 名古屋工業会では会員の増強を行っております。工業会に未加入の方はこの機会に是非ご加入頂きますようお願い申し上げます。

広告

終身会員制度のご案内

終身会員として30,000円を納入されますと以後の会費は免除される制度です。平成22年8月までに終身会員(155名)の方は次の通りです。(敬称略)(記載漏れがございましたら事務局までご連絡下さい。)

学年別終身会員数(括弧内は人数) W12(1), W13(2), W25(1), W28(1), W29(5), W30(1), W31(4), W32(4), W33(6), W34(9), W35(5), W37(7), W38(5), W39(6), W40(10), W41(2), W42(3), W43(1), W44(1), W45(6), W46(4), W47(2), W48(4), W51(4), W52(2), W53(1), W54(2), W55(5), W56(4), W57(1), W58(3), W59(1), W60(1), W62(2), W63(1), Wh1(2), Wh2(3), Wh3(3), Wh4(2), Wh5(4), Wh6(2), Wh7(2), Wh8(1), Wh11(1), Wh10(5), Wh12(2), Wh13(5), Wh14(1), Wh16(1), Wh18(1)

田中铁三郎, 加藤武, 山口武雄, 冨田義晴, 今枝勉, 太田鑑吾, 柏木鉄雄, 鈴木重夫, 竹村皎, 長谷川準三, 安藤保, 木村常男, 須加井喬, 松岡八郎, 鷺田一雄, 井田武彦, 今井博, 玉田欽也, 瀧澤直人, 伊藤晃, 片岡忠明, 川口文夫, 日比宣夫, 福田竺, 宮本浩二, 奥村巳善, 兼松勇夫, 下山幸重, 杉浦潔彦, 長崎義一, 丸地孝男, 宮崎幹士, 箕浦静, 森川勲, 氏原義文, 酒井麓郎, 山口儀康, 横地邦廣, 蜂須賀辰雄, 青山實, 赤塚正明, 伊藤周雄, 芝崎暢彦, 西尾弘之, 西川尚武, 堀紀久雄, 井塚淑夫, 高橋信行, 中村勤, 丹羽信男, 長谷川隆男, 牧紀久夫, 伊藤弘, 神谷昇, 城山義見, 高橋英生, 高橋正清, 浜島徳充, 市橋洋志, 今井啓裕, 北村公英, 後藤共子, 近藤高可, 谷憲治, 田村広志, 恒川昭夫, 長島徹, 西川宣昭, 永坂友康, 西澤郁朗, 酒井敏彦, 椿泰広, 長江正純, 印藤矯, 牧野昭二, 伊藤哲夫, 小坂寧, 加藤喬士, 谷岡明彦, 水野和博, 森川民雄, 斉藤秀夫, 所義勝, 山中一, 山本恒男, 森田健次, 今井貞幸, 浅井幹夫, 稲波弘明, 佐藤紀夫, 白木雅雄, 亀岡直樹, 三宅宣幸, 采誠次, 矢部敏之, 磯本恒之, 加納章, 廣田英幸, 朝倉睦美, 嵯峨久直, 小谷一郎, 三上鉄也, 水野喜仁, 伊藤聰, 玉置達夫, 榊原啓介, 松村秀司, 山田基美子, 吉木満, 荒川みはる, 伊藤健一郎, 杉村貴代, 鈴木司朗, 木村敦志, 松野一郎, 小野晃, 山本武志, 山本哲也, 永田寛知, 高木登, 青木知明, 片岡真理, 小塚佳明, 植手貴夫, 濱口尚久, 松田淳二, 安田正弘, 鹿糠悟, 佐藤嘉洋, 高木幸治, 冬頭美乃, 鈴木晃, 林修二郎, 山本勝宏, 木野喜隆, 長坂直紀, 土井智清, 佐藤佳治, 岡恭子, 原滋郎, 井上慎一郎, 黒川裕司, 大室幸絵, 藤川誠二, 中村賢一, 辻隆幸, 小森久敏, 杉野裕介, 竹内孝行, 中井祐介, 藤澤佳右, 堀部峰雄, 森下豪人, 久保田篤優, 角谷信裕

連 絡 先				
◇ 関西支部 (大阪支部より名称変更)				
支部長	今井啓祐 (W40)	〒662-0918	兵庫県西宮市六湛寺町2-2-2307	☎ 0798-61-6411
幹事長	小山征治 (W42)	〒562-0033	大阪府箕面市今宮3-23-2	☎ 0727-28-1898
◇ 東京支部				
支部長	山田 實 (W23)	〒241-0816	神奈川県横浜市旭区笹野台1-10-23	☎ 045-391-4332
幹事長	佐藤 誠 (W33)	〒277-0043	千葉県柏市南逆井2-10-17	☎ 0471-74-7329
幹事長	飯田秀郎 (W33)	〒134-0081	東京都江戸川区北葛西5-5-2-502	☎ 03-3688-1961
◇ 東海支部				
支部長	泉地正章 (W44)	〒466-0834	名古屋市昭和区雲雀ヶ岡3-602	☎ 052-837-7271
幹事長	吉木 満 (W56)	〒470-2102	知多郡東浦町大字緒川字辰新町22	☎ 0562-85-2963
◇ 双友会本部事務局				
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町				
名古屋工業大学 生命・物質工学科 生体材料プログラム				
☎ 052-735-5264 (高木幸治) 052-735-5277 (山本勝宏) 052-735-5270 (杉本英樹)				

教員連絡先は生命・物質工学科HPをご覧ください: <http://www.lme.nitech.ac.jp/staff-seitai.html>

広告